GS

Grand Seiko

取扱説明書
INSTRUCTION

このたびはグランドセイコーをお買い上げいただきありがとうございました。SEIKOでは、時計づくり100有余年の伝統と世界に誇る先進技術のすべてを注ぎ、製造・検査を実施しております。グランドセイコーの優れた性能を保つ為に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、末長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。
この取扱説明書はお手もとに保存いただき、必要に応じてご覧ください。

目次

■製品の特長 ・・・

■製品の特長

スプリングドライブとはセイコー独自の機構で、ゼンマイが巻き解ける力を唯一の動力源としながらも、クオーツ時計と同等の高精度を実現した機構です。(機構の詳細は別冊の「スプリングドライブ・ハンドブック」をお読みください。)

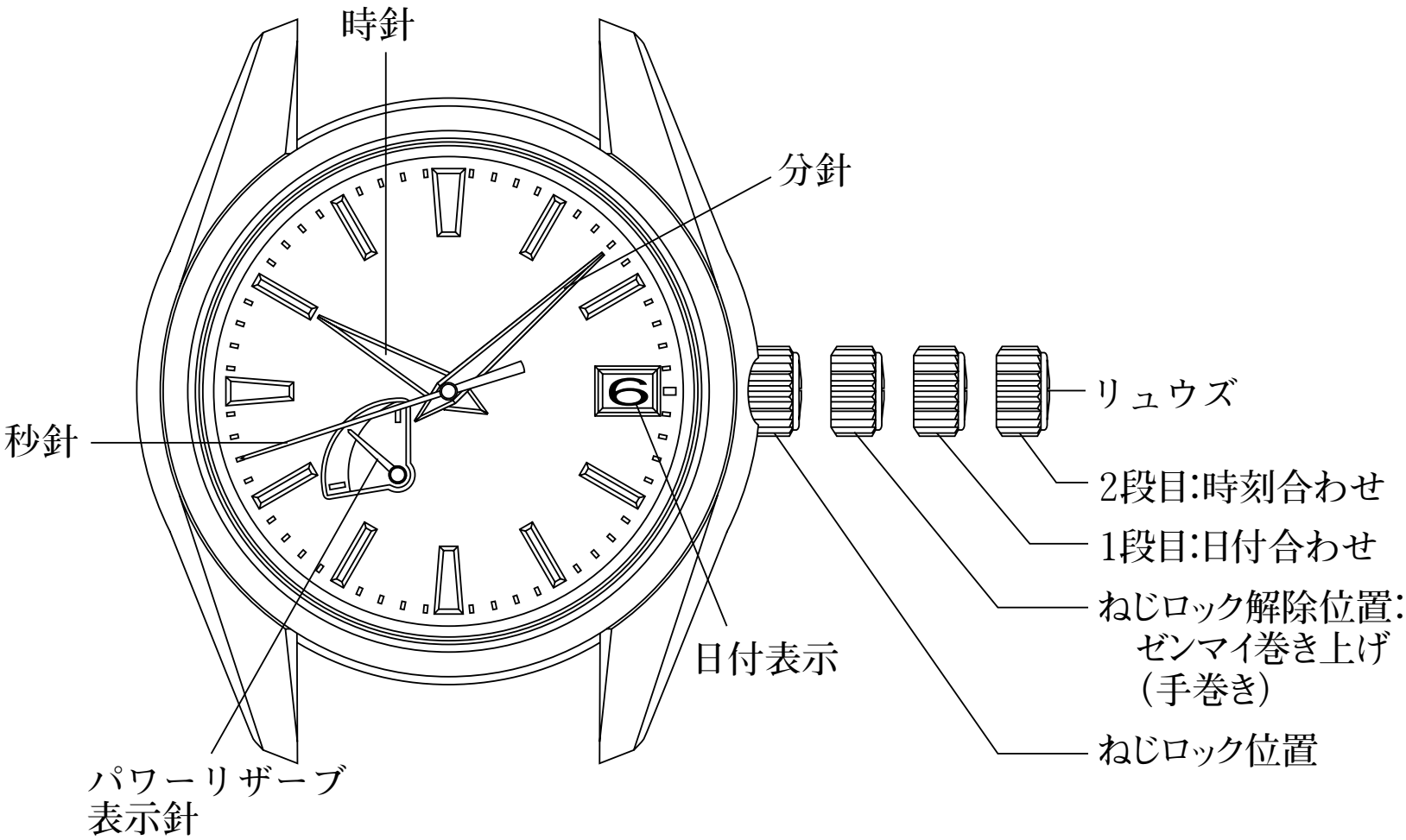
ゼンマイを充分に巻き上げた状態から、約７２時間（約３日間）動き続けます。ゼンマイの巻き上げ状態がわかるパワーリザーブ表示付きです。秒針は完全に滑らかなスイープ運針で動きます。

巻き上げ方式は自動巻きですが、手巻き機構も併せて備えていますので、始動時の巻き上げに便利です。

⚠注意

スプリングドライブはゼンマイの力で動きます。パワーリザーブ表示の残量が無くなる前に充分に巻き上げてご使用ください。
特に低温下（０℃以下）では、パワーリザーブ表示が「１／６」以下になると止まる可能性がありますのでご注意ください。

■各部の名称


時針
分針
秒針
6
日付表示
パワーリザーブ
表示針
リュウズ
2段目:時刻合わせ
1段目:日付合わせ
ねじロック解除位置:
ゼンマイ巻き上げ
(手巻き)
ねじロック位置

■ご使用方法

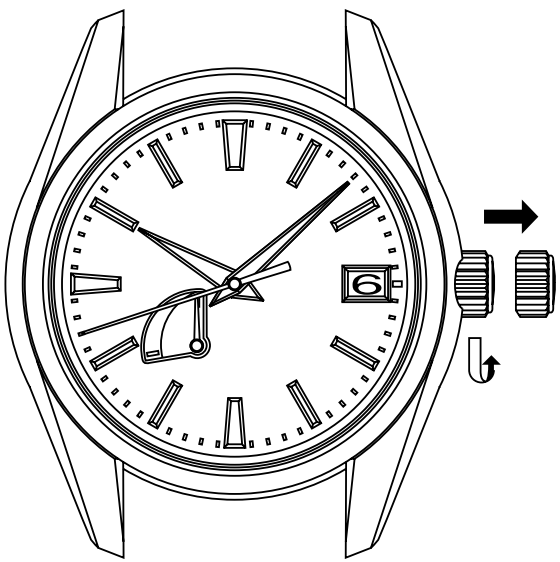
この時計は自動巻き式（手巻き付き）です。

・ゼンマイは、腕につけてご使用いただく際には、通常の腕の動きで自然に巻き上がります。

・止まっている時計をお使いになる場合には、<u>リュウズを回してゼンマイを巻き上げることをお勧めします。</u>

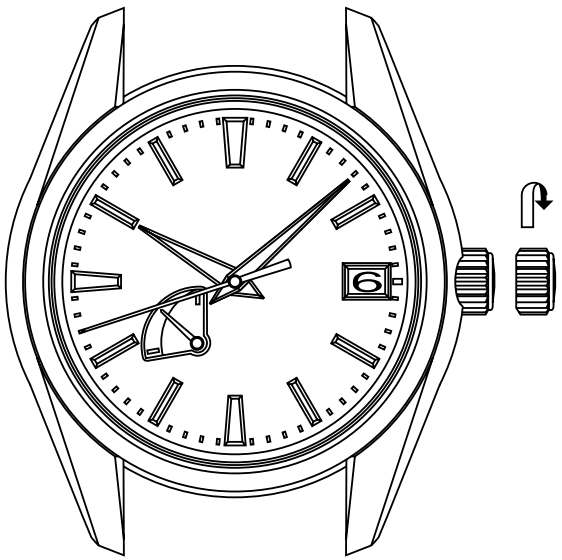
●リュウズでのゼンマイの巻きかた

1



リュウズは、ねじロック仕様になっております。リュウズを左（6時方向）に回してねじロックを解除してください。（ねじロックが完全に解除されると、リュウズは締めこんだときの位置よりも少し外側に出ます。）

2

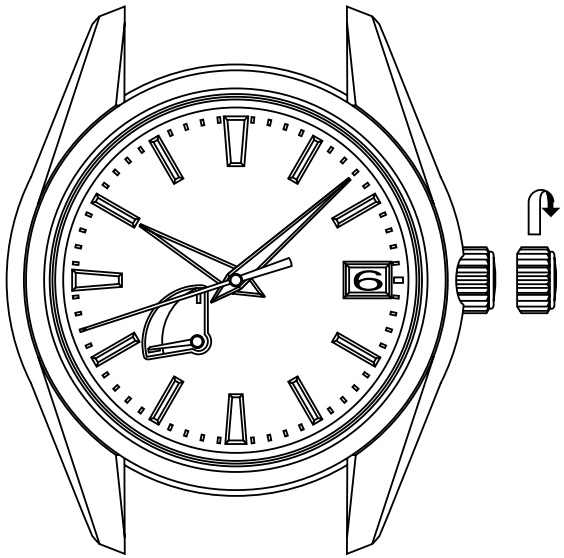


ねじロックが解除されましたら、
リュウズを押し付けないように
注意しながら右（12時方向）に
ゆっくり回して、ゼンマイを巻い
てください。

＊リュウズを5回転させると約10時間分のパワーリザーブが得られます。巻き上げ操作時の目安にしてください。

＊なお、リュウズを左（6時方向）に回してもゼンマイは巻き上がらず、空回りする構造になっています。

3

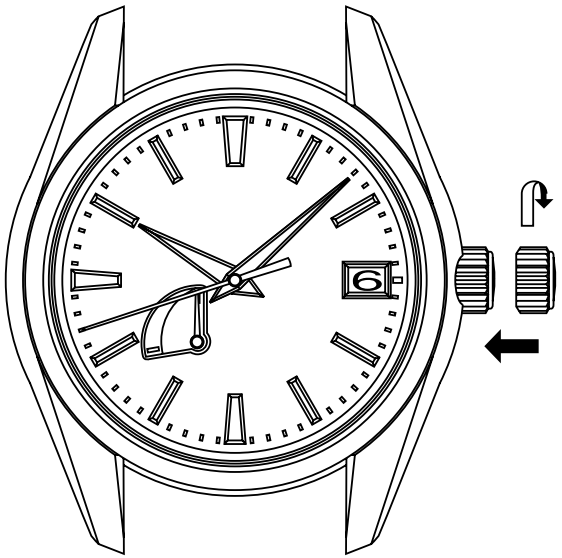


パワーリザーブ表示針がフル巻き上げ表示になるまで、ゼンマイを巻いてください。秒針が動きはじめます。

※ゼンマイの巻き上がり量についてはP.18「■パワーリザーブ表示の見かた」をご参照ください。

※フル巻き上げの状態からさらにリュウズを回しても、リュウズは止まらずに回転させることができます。リュウズを回し続けても時計が壊れることはありませんが、ゼンマイはそれ以上巻き上がりませんので過剰な操作はお控えください。

4



リュウズを押し付けながら右（12時方向）に回し、止まるところまでねじ込んでください。

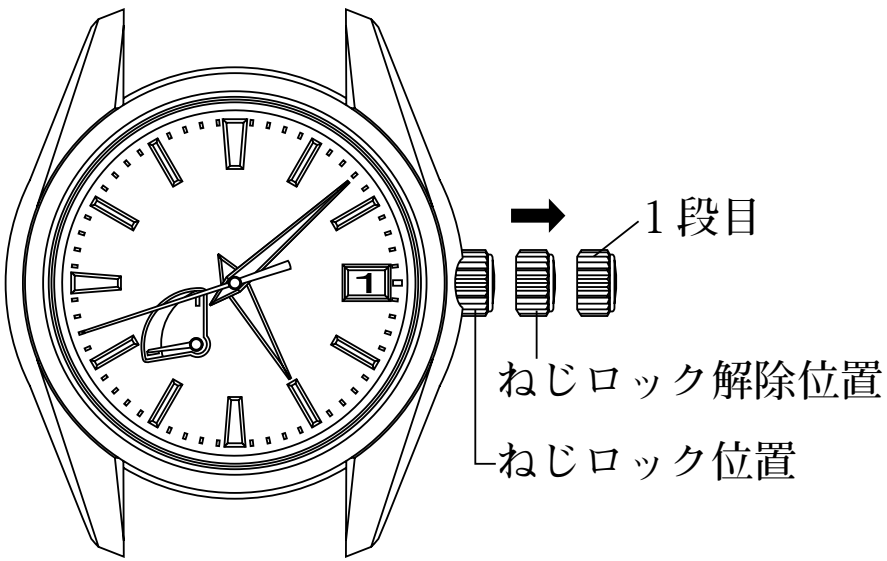
※リュウズをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題はありません。

⇒続いて時刻・日付表示を合わせる場合は、ねじロックは締めずにP.10「●日付・時刻の合わせかた」の操作方法に従ってください。

●日付・時刻の合わせかた

・必ず時計が動いている状態（ゼンマイが巻き上げられた状態）で、日付・時刻の合わせをしてください。

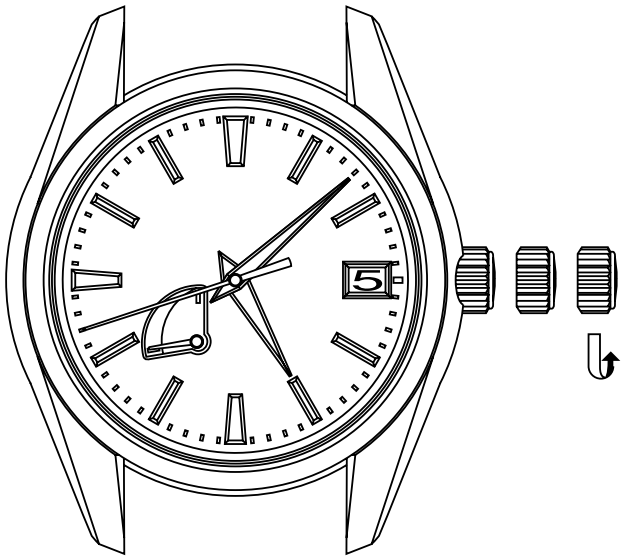
1



リュウズを１段目まで引き出してください。（秒針は動き続けています。）

＊ねじロックが締めこんである場合には、リュウズを左（６時方向）に回してロックを解除してから、リュウズを１段目まで引き出してください。

2

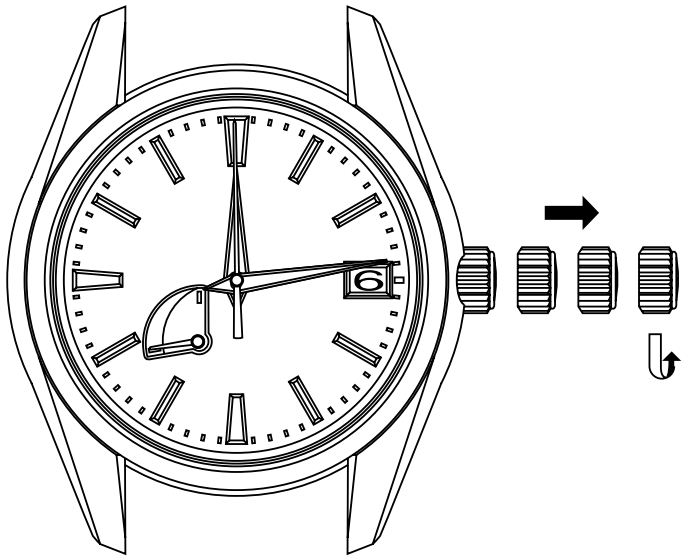


リュウズを左(６時方向)に回して日付を前日に合わせます。

(例) 合わせたい日付が「６日」の場合、「５日」に合わせます。

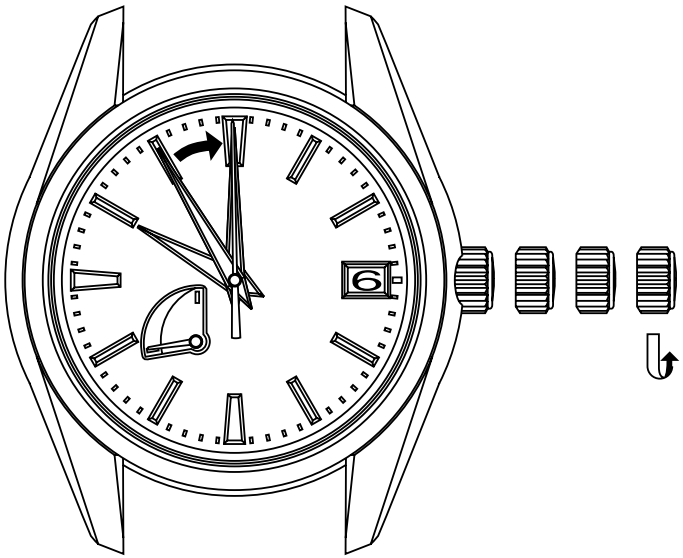
※時計の針が午後９時～午前１時までの間を示しているときは、日付の修正はしないでください。この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が変わらない場合があります。
この場合はリュウズを２段目まで引き出し、リュウズを左（６時方向）に回して一旦時刻を午前１時よりも進めてから、リュウズを再び１段目にして日付を合わせてください。

3



秒針が12時（０秒）位置にきたら、リュウズを２段目まで引き出してください。（秒針が止まります。）
リュウズを左（６時方向）に回して、合わせたい日付になるまで時刻を進めてください。

4



次に時刻を合わせます。リュウズを２段目まで引き出した状態のまま、左（６時方向）に回して、合わせたい時刻の手前から分針をゆっくり進めて合わせてください。

＊日付は24時間に１回変わるように設定されていますので、午前午後を間違えないように時刻を合わせてください。

※時刻合わせは、電話の時報サービスＴＥＬ．１１７が便利です。

5 時報と同時にリュウズを押し込んでください。秒針が動き始めます。
最後に、リュウズを押し付けながら右（12時方向）に回し、止まるところまでねじ込んでください。

※リュウズをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題ありません。

より正確に時刻合わせをするために！

・スプリングドライブ機構の構造上、より正確な時刻合わせをしていただくには、下記の点にご注意ください。

1．時刻合わせをする場合は、ゼンマイを充分（パワーリザーブ表示がフル巻き上げの状態）巻き上げてください。

2．止まっている時計を動かした場合は、ゼンマイを充分巻いて30秒程度秒針が動いてから、リュウズを２段目に引き出し、時刻合わせをしてください。

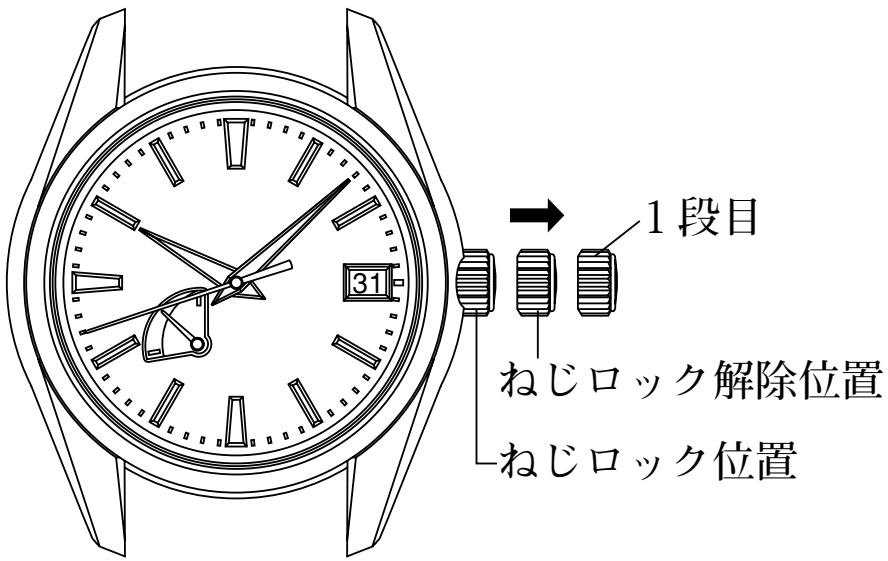
3．リュウズを２段目まで引き出して秒針を止めている時間は、「30分以内」にしてください。これ以上の時間引き出していた場合は一旦リュウズを押し込み、30秒程度は秒針が動いてから、時刻合わせをし直してください。

〈月末の日付修正について〉

・この時計の日付表示は１日～31日となっています。小の月（2,4,6,9,11月）の場合は、ご自分で日付を合わせ直す必要がありますのでご注意ください。

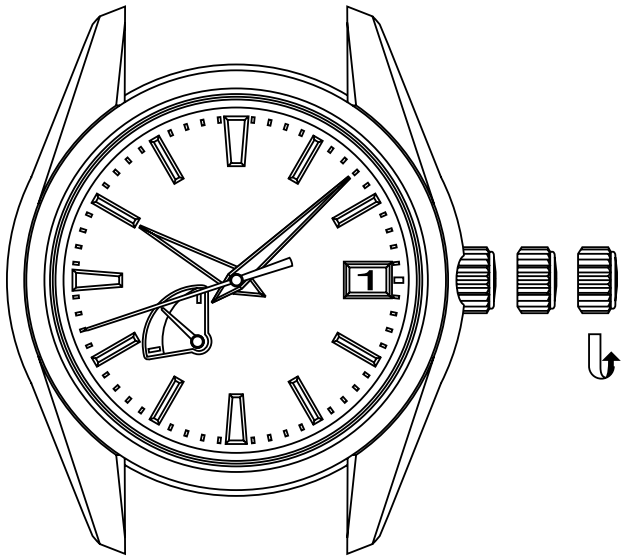
例：小の月の翌月「１日」の朝に日付表示を修正する場合

1



日付表示は「１」ではなく「31」になっています。リュウズを左（６時方向）に回してねじロックを解除してから、１段目まで引き出してください。

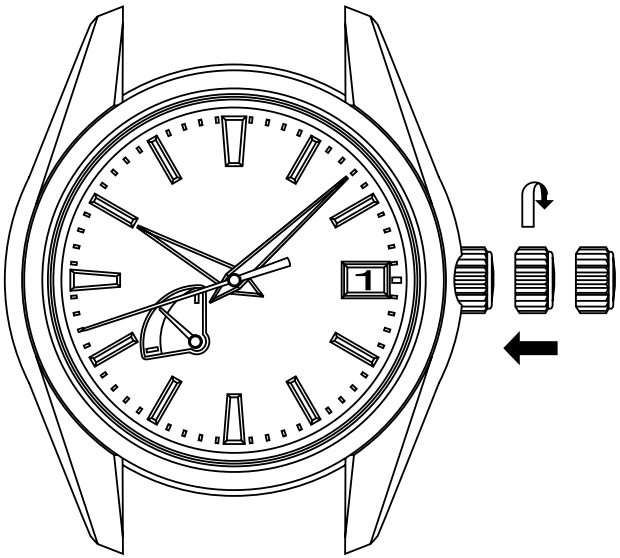
2



リュウズを左（6時方向）に回して日付を「1」に合わせます。

※時計の針が午後9時～午前1時までの間を示しているときは、日付の修正はしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が変わらない場合があります。
この場合はリュウズを2段目まで引き出して左（6時方向）に回し、一旦この時間帯以外の時刻にしてから、リュウズを再び1段目にして日付を合わせてください。

3

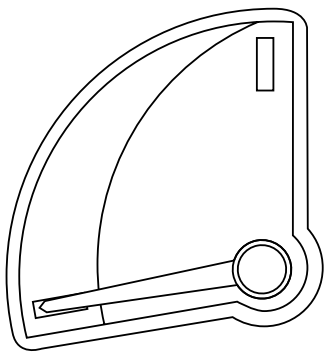
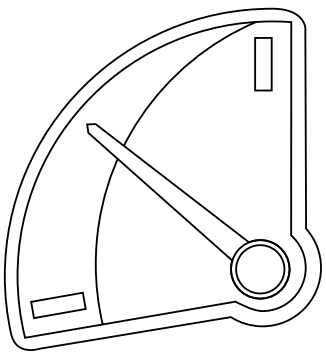
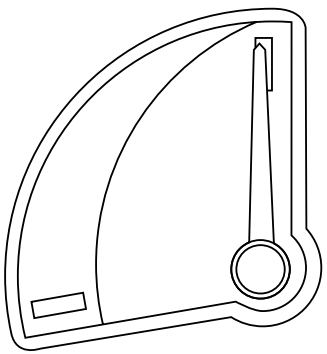


日付の合わせが終わったらリュウズを押し込み、さらに押し付けながら右（12時方向）に回して止まるところまでねじ込んでください。

※リュウズをねじ込んでいる時に若干のクリック感がありますが、これはゼンマイが巻き上げられる感触が伝わっているものですので問題ありません。

■パワーリザーブ表示の見かた

・パワーリザーブ表示で、ゼンマイの巻き上げ具合が確認できます。
・時計を腕から外して置いておく際には、次にご使用（携帯）されるまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示でご確認の上、必要に応じてゼンマイを巻き上げてください。(時計を止めないためには、必ず余裕を持った時間分を巻き上げるようにしてください。)

パワーリザーブの指示			
ゼンマイの状態	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
持続時間	約72時間(約3日間)動きます。	約36時間(約1日半)動きます。	時計は止まっているか、止まる直前の状態です。

※フル巻き上げ状態でリュウズをそれ以上回しても、あるいは自動巻き機構による巻き上げが行なわれても、ゼンマイが損傷を受けることはありませんのでご安心してお使いください。この時計のゼンマイは自動巻き機構特有の構造（スリッピングアタッチメント）の働きで、ゼンマイが巻き止まらないようになっております。

●自動巻き機構によるゼンマイ巻き上げの目安について

・ご使用時間と巻き上げ具合の目安は下記の通りです。実際にはお客様のご使用状況（時計を携帯使用される時間や運動量等）によって異なってきますので、パワーリザーブ表示でご確認ください。

１日当たり12時間の携帯で連続して３～５日間ご使用されると、フル巻き上げになると思われます。

※１日のご使用時間が短い場合などは、パワーリザーブ表示をご確認の上、必要に応じてゼンマイを巻き上げてください。

■使用上の注意とお手入れの方法

⚠注意

日常のお手入れ

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふき取るだけで汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。

〈革バンド〉
・革バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽くふいてください。こするようにふくと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉
・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。

⚠注意

かぶれやアレルギーについて

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられるのは、
　１．金属・皮革に対するアレルギー
　２．時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠注意

防水性能

・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、ご使用ください。
・水分のついたままリュウズを回したり、引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

時計の防水表示 上段：文字板 下段：裏ぶた	使用例 防水の基準	雨や洗顔など日常生活で予想される「水がかかる」程度	水に関係の深い仕事(農水産･園芸･食堂など)やスポーツ(水泳やヨット）で使用できる程度	空気ボンベを使用しない潜水（スキンダイビング）で使用できる程度	空気ボンベを使用する潜水(スキューバ潜水)に使用できる	ヘリウムガスを使用する潜水方式(飽和潜水)に使用できる
表示なし 表示なし	非防水	×	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST	日常生活用防水 （3気圧防水）	○	×	×	×	×
表示なし WATER RESIST WATER RESIST 5 BAR のいずれか	日常生活用強化防水 （5気圧防水）	○	○	×	×	×
表示なし WATER RESIST 10 BAR のいずれか WATER RESIST 10 BAR	日常生活用強化防水 （10気圧防水）	○	○	○	×	×
表示なし WATER RESIST 20 BAR のいずれか WATER RESIST 20 BAR	日常生活用強化防水 （20気圧防水）	○	○	○	×	×

⚠警告

・日常生活用防水（３気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（５気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10、20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

その他、携帯上ご注意いただきたいこと

・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので、十分にご注意ください。
・落としたりぶつけたりはもちろんのこと、激しいスポーツなどによるショックもお避けください。時計が一時的に遅れたり進んだりします。

保管について

・「－10℃～＋60℃からはずれた温度」下では機能が劣化したり、停止したりする場合があります。
・磁気の影響（テレビ、スピーカ、磁気ネックレス等）があるところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含有するもの＝ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など＝水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。

定期点検について

・機種9R65の点検及び分解掃除はメーカーにて行ないますので、販売店にはメーカーへ依頼するようお申しつけください。
・ながくご愛用いただくために、３～４年に一度程度の分解掃除による点検調整（オーバーホール）をおすすめします。
ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などをで防水性能が損なわれる場合があります。
分解掃除による点検調整を、お買い上げ店にご依頼ください。
・部品交換の時は、「純正部品」とご指定ください。
・定期点検の際には、パッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■こんな時には

現象	考えられる原因
時計が止まっている。	ゼンマイのエネルギーが無くなった。
毎日使用しているが、パワーリザーブ表示が上がらない。	携帯時間が少ないか、あるいは腕の動きが少ない。
時計が一時的に進む／遅れる。	暑いところ、または、寒いところへ放置した。
	磁気を発生するもののそばに置いた。
	落としたり強くぶつけたりまたは激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。
パワーリザーブ表示の残量があるのに時計が止まった。	低温下（0℃以下）に放置した。
止まっている時計を動かした直後、時刻合わせをしたら、秒針の運針が早く見えた。	動き出す際、調速機構が働くまではやや時間がかかります。（故障ではありません）
日付が、日中に変わる	時刻合わせが12時間ずれている

このようにしてください
「●ゼンマイの巻きかた」に従ってゼンマイを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。 携帯中や時計を外す際は、パワーリザーブ表示の針を確認し、必要に応じてゼンマイを巻いてください。
携帯使用する時間を長くしていただくか、時計を外す際のパワーリザーブ表示の残量が次にご使用されるまでの時間分に足りない場合は、リュウズを回してゼンマイを巻き上げてください。
常温に戻れば元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温5℃～35℃で腕につけたときに安定した時間精度が得られるように調整してあります。
磁気を遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。 元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
時刻を合わせ直してください。 元に戻らない場合には、お買い上げ店にご相談ください。
お買い上げ店にご相談ください。
低温下（0℃以下）では、パワーリザーブ表示が「1／6」以下のときは時計が止まる場合があります。 リュウズを回してゼンマイを巻いてください。
調速機構が働くまでに数秒間かかります。より正確に時刻を合わせるには、30秒程度秒針が動いてから時刻合わせをしてください。
12時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■アフターサービスについて

・お買い求めいただきましたグランドセイコーは厳重な検査、調整を行った後、お手元にお届けしております。しかし、取扱説明書にそった正常なご使用状態で保証期間内に万一、不具合が生じた場合には保証書をそえて、お買い上げ店へお持ちください。メーカにて無料で修理、調整させていただきます。保証内容は、保証書に記載してあります。

・保証期間経過後の修理およびグランドセイコーについてのご相談は、お買い上げ店でうけたまわっております。
なお、ご不明な点は61頁の「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」へお問い合わせください。

■補修用性能部品について

・グランドセイコーの補修用性能部品の保有期間は通常10年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）

・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。

・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

・その他、わからない点がありましたら、「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」にお問い合わせください。

■製品仕様

1．基本機能 ……3針(時・分・秒)、カレンダー表示、パワーリザーブ表示
2．水晶振動数 ‥‥ 32，768Hz
3．精度 ‥‥‥‥‥‥平均月差 ±15秒以内(日差±1秒相当)
※ただし、気温5℃～35℃において腕につけた場合
4．作動温度範囲 ‥－10℃～＋60℃
※ただし、低温下(0℃以下)ではパワーリザーブ表示が
1／6以上で使用のこと
5．駆動方式 ‥‥‥ゼンマイ巻　＜自動巻き(手巻き付き)＞
6．運針方式 ‥‥‥スイープ運針
7．持続時間 ‥‥‥約72時間(約3日間)※パワーリザーブ表示がフル巻き上げの状態から
8．電子回路 ‥‥‥発振・分周・スプリングドライブ制御回路(C-MOS-IC)：1個
9．使用石数 ‥‥‥ 30石

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

You are now the proud owner of a GRAND SEIKO watch. GRAND SEIKO watches are designed and manufactured to operate with extremely high accuracy by taking advantage of SEIKO's more than 100 years of experience in watchmaking and the advanced technology that SEIKO can boast to the world.

To preserve the highest quality of your GRAND SEIKO watch, please read the instructions in this booklet carefully for its proper use and care, and keep this booklet for ready reference.

CONTENTS

■FEATURES ····· 34
■NAMES OF THE PARTS ····· 35
■HOW TO USE ····· 36
■HOW TO READ THE POWER RESERVE INDICATOR ····· 48
■PLACES TO KEEP YOUR WATCH ····· 50
■PERIODIC CHECK ····· 51
■TROUBLE SHOOTING ····· 52
■REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING ····· 54
■REMARKS ON REPLACEMENT PARTS ····· 55
■SPECIFICATIONS ····· 56

■FEATURES

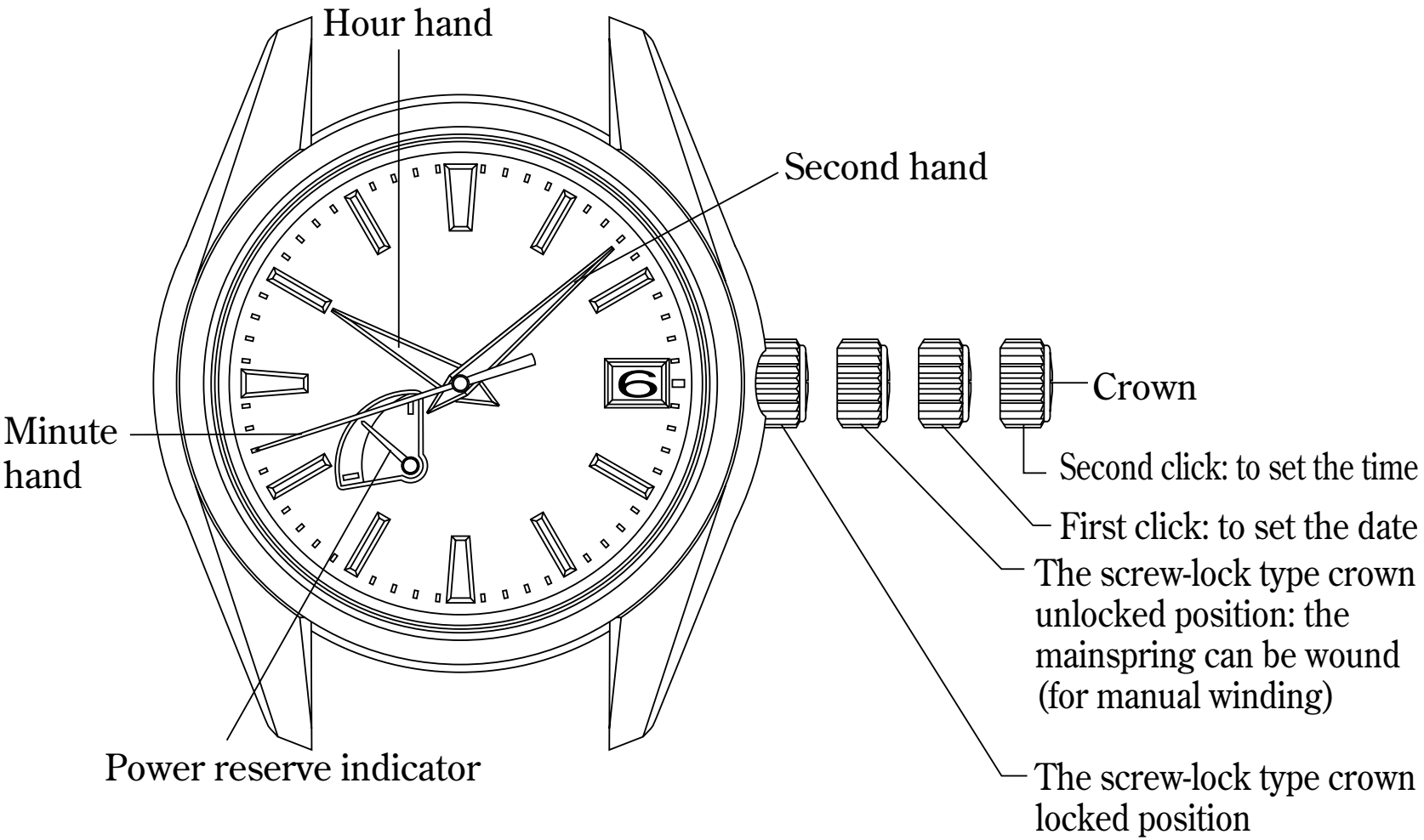
Spring Drive, the unique mechanism made available only by SEIKO technology, ensures quartz accuracy while using the mainspring as its sole power source.
(For details of the Spring Drive mechanism, refer to the separate manual "Spring Drive Handbook.")

The watch will work continuously for approximately 72 hours (three days) when the mainspring is fully wound.
The watch features a power reserve indicator to show the winding state of the mainspring.
The sweep second hand works in a perfectly smooth movement.
This is a self-winding watch equipped with a manual winding mechanism. When first using the watch, manual winding is convenient.

⚠ CAUTION

Spring Drive works by the power provided by the mainspring. Rewind the mainspring before the power reserve indicator shows "0".
If the watch is left under low temperatures (especially below 0℃), it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth.

NAMES OF THE PARTS


Hour hand
Second hand
Minute hand
Crown
Second click: to set the time
First click: to set the date
The screw-lock type crown unlocked position: the mainspring can be wound (for manual winding)
Power reserve indicator
The screw-lock type crown locked position

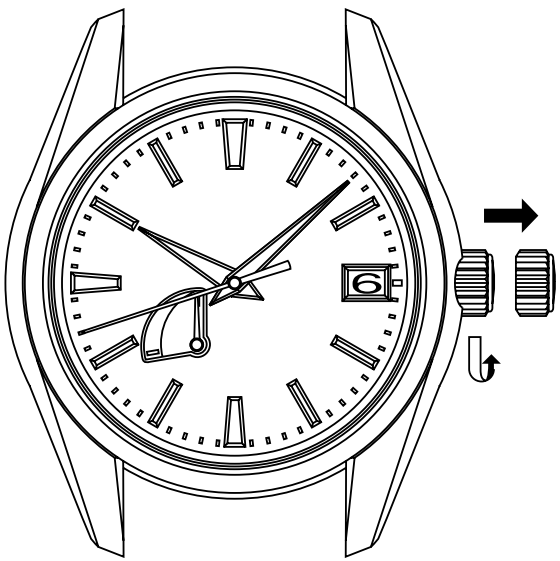
■HOW TO USE

This watch is a self-winding watch equipped with a manual winding mechanism.

- When the watch is worn on the wrist, the motion of the wearer's arm winds the mainspring of the watch.
- When first using a stopped watch, it is recommended that you manually wind the mainspring by turning the crown.

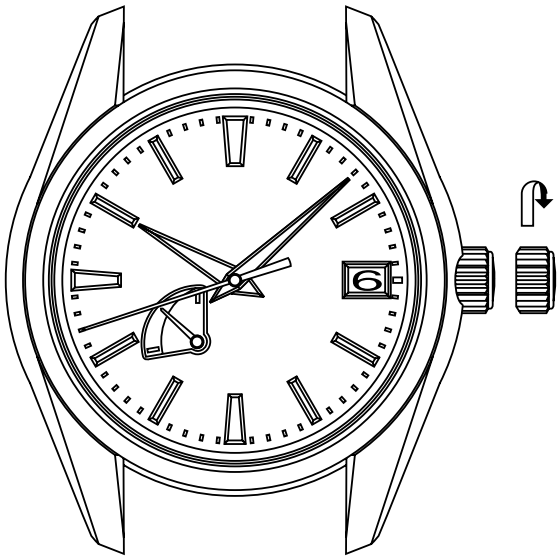
●How to manually wind the mainspring by turning the crown

1



The crown is a screw-lock type crown. Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to unlock the screw. (When the screw is completely unlocked, it will be projected outward a little from its original position.)

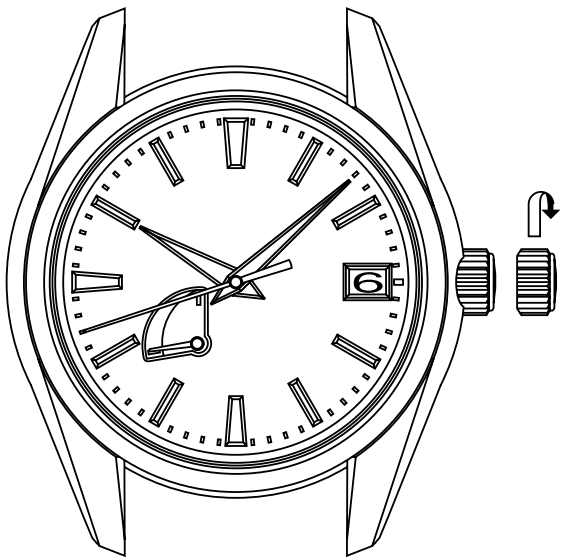
2



After unlocking the screw, slowly turn the crown clockwise (the twelve o'clock direction) to wind the mainspring. <u>Take care not to press down the crown.</u>

* As for manual winding, if you give the crown five 360 degrees rotations, it provides the power to run the watch for approximately ten hours.
* If the crown is turned counterclockwise (the six o'clock direction), the mainspring of the watch will not be wound.

3

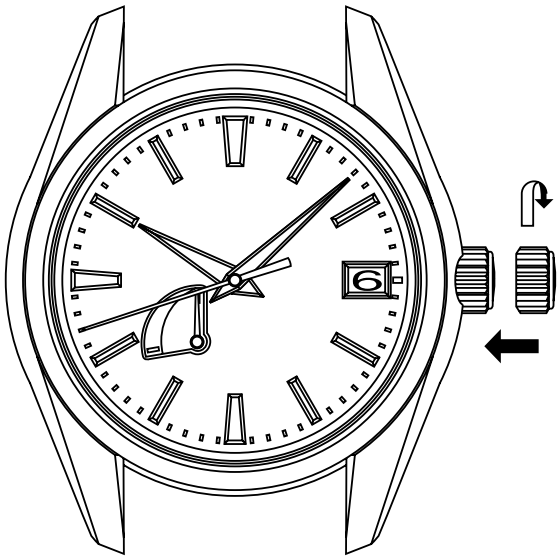


Wind the mainspring until the power reserve indicator shows a full-wound state. The second hand starts moving.

※To check the winding state of the mainspring, refer to "■ HOW TO READ THE POWER RESERVE INDICATOR " on page 48.

※There is no need to turn the crown further when the mainspring is fully wound. The crown can be turned without damaging the watch mechanism; it only winds the mainspring free.

4



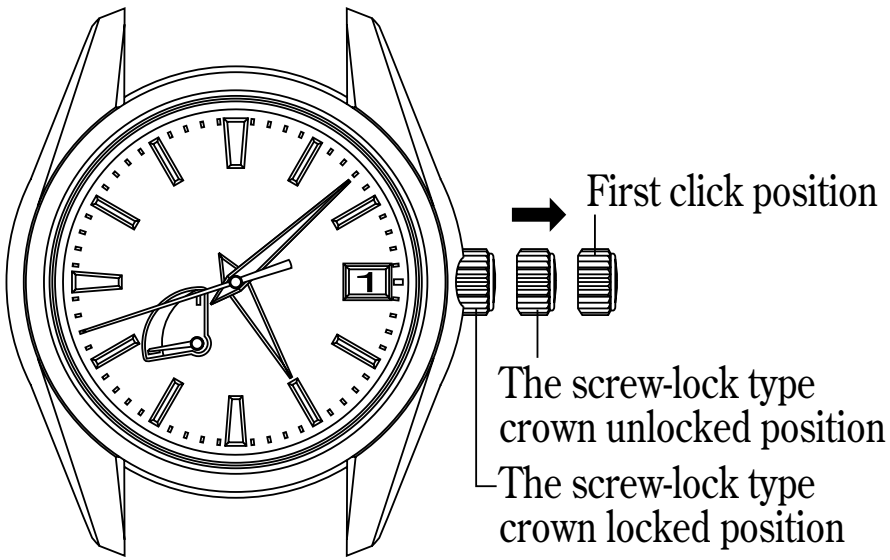
Gently turn the crown clockwise (the twelve o'clock direction) while pressing it, until it is screwed all the way in and locked.

⇒If you wish to continue to set the date and time, do not screw the crown in but follow the instructions of "●How to set the date and time" on page 40.

●How to set the date and time

・<u>When setting the date and time, ensure that the watch is working: the mainspring is sufficiently wound.</u>

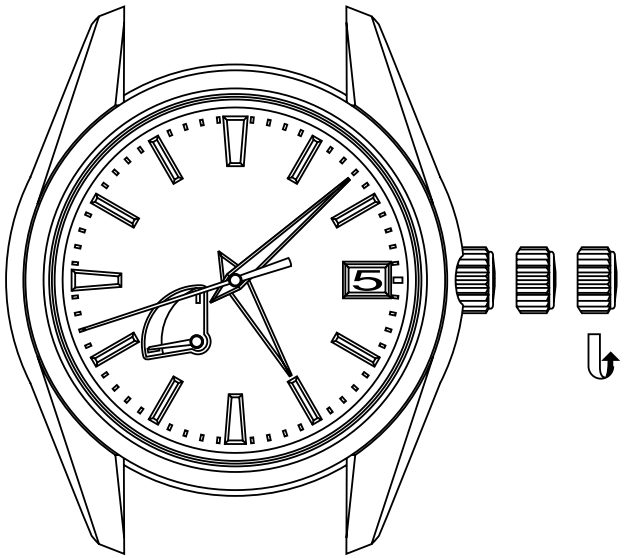
1



Pull out the crown to the first click. (The second hand continues moving.)

＊If the crown is screwed in and locked, turn it counter-clockwise (the six o'clock direction) to undo it, and then pull it out to the first click.

2

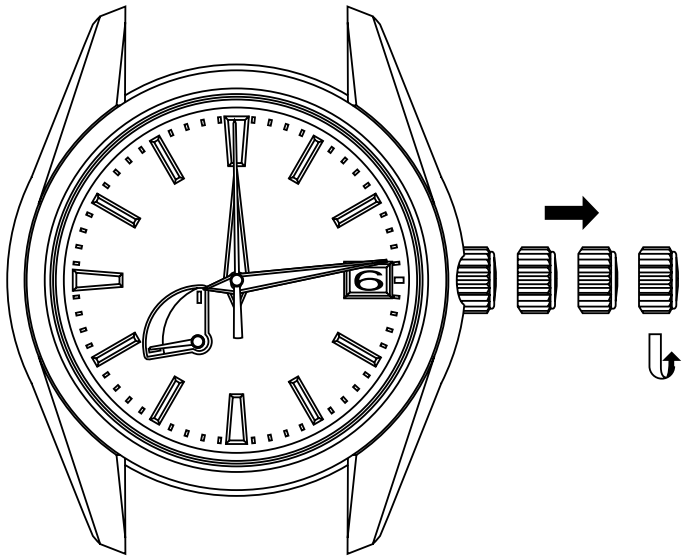


Turn the crown counter-clockwise (the six o'clock direction) to set the date to the previous date.

Example:When you wish to set the date to the sixth, set to the fifth at this point.

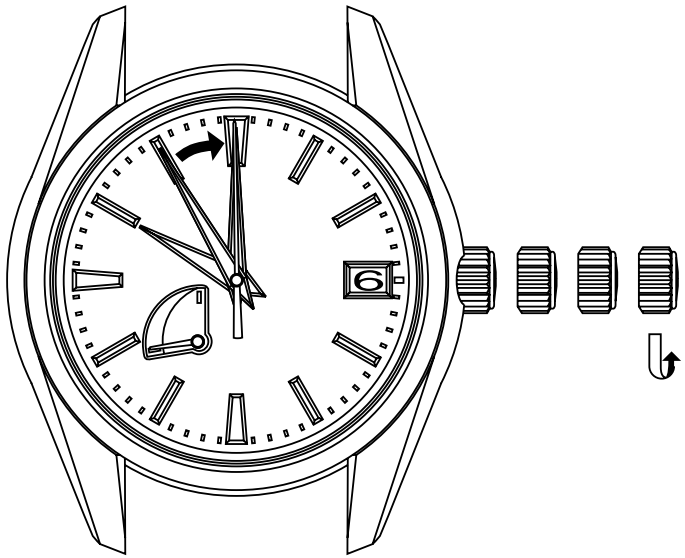
※Do not change the date while the watch hands show the time between 9:00 PM and 1:00 AM. If the date is set during this time period, the date may not change properly on the following day. To avoid this, pull out the crown to the second click, and turn it clockwise (the twelve o'clock direction) to temporarily advance the hands to show any time after 1:00 AM. Then push the crown back to the first click to set the date.

3



At the time when the second hand comes to point to 12 o'clock (zero second), pull out the crown to the second click to stop the second hand. Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to advance the time until the watch shows the date you wish to set.

4



Move on to the time setting. While keeping the crown at the second click position, turn it counterclockwise (the six o'clock direction) to slowly advance the minute hand to the time you wish to set.

＊The date changes once every 24 hours. When setting the time, make sure that AM/PM is properly set.

※The telephone time signal service (Tel. 117) is convenient to set the time accurately.

5 Push the crown back in to its original position in accordance with a time signal. Immediately the second hand will start moving. Turn the crown clockwise (the twelve o'clock direction) while pressing it to push it back all the way in.

Tips for more accurate time setting

・Take notice of the following points in order to set the time more accurately.

1.Before setting the time, wind the mainspring until the power reserve indicator shows a full-wound state.

2.When using a watch after it has stopped, wind the mainspring sufficiently and wait approximately 30 seconds after the second hand starts moving, and then pull the crown out to the second click and set the time.

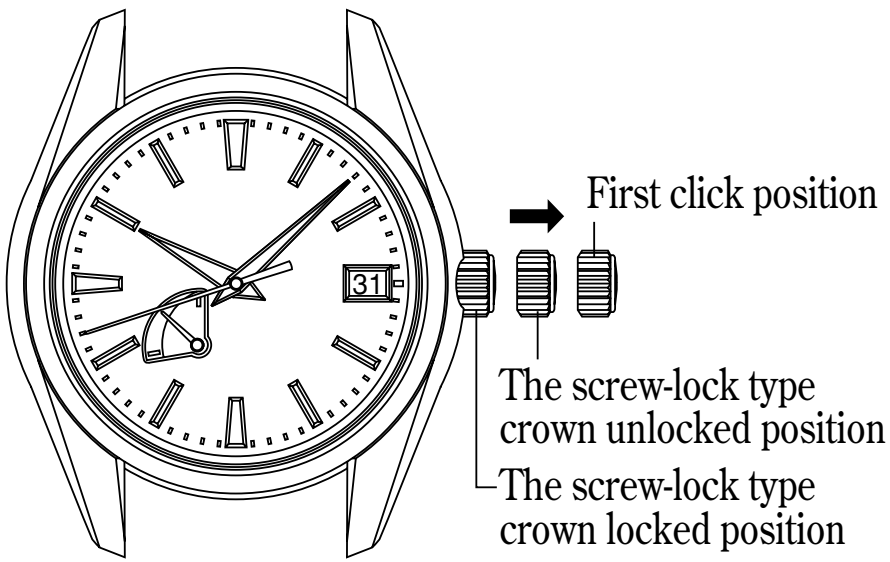
3.Do not stop the second hand with the crown being at the second click position for 30 minutes or longer. If the second hand has been stopped exceeds 30 minutes, push the crown back in to its original position, and let the second hand move for 30 seconds or longer, then restart the time setting.

<Date adjustment at the end of the month>

・The date-display is from the 1st to 31st every month, so that manual date adjustment is required at the end of a month that has less than 31 days: February, April, June, September and November.

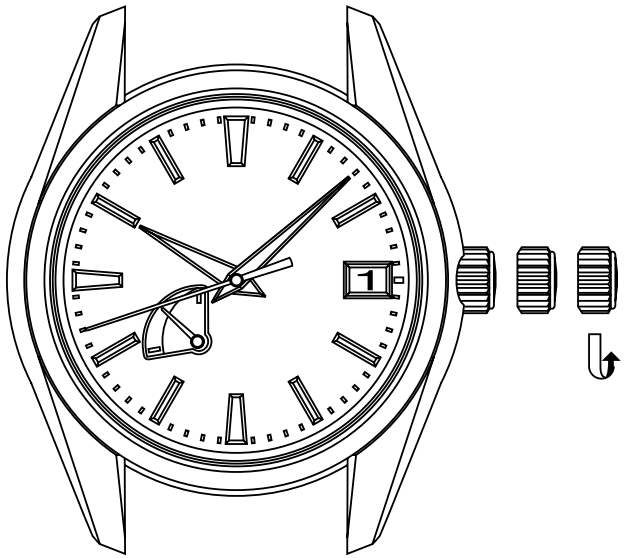
Example:To set the date on the morning of the 1st day of a month that has less than 31 days

1



The date-display will be "31" instead of "1". Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to unscrew the crown, and then pull it out to the first click.

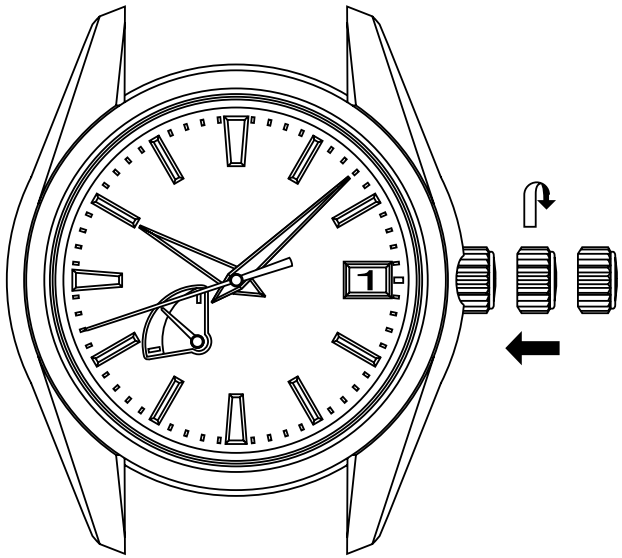
2



Turn the crown counterclockwise (the six o'clock direction) to set the date to "1".

※Do not change the date while the watch hands show the time between 9:00 PM and 1:00 AM. If the date is set during this time period, the date may not change properly on the following day. To avoid this, pull out the crown to the second click, and turn it counterclockwise (the six o'clock direction) to temporarily set the hands to show any time out of this time period. Then push the crown back to the first click to set the date.

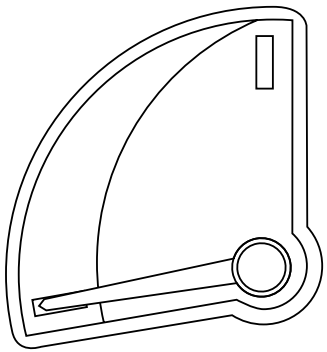
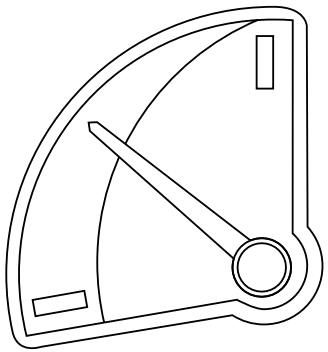
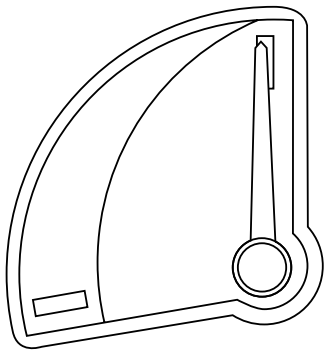
3



After completing the date setting, push the crown back in to the first click position. Then press in the crown while turning it clockwise (the twelve o'clock direction) to push it all the way in.

■HOW TO READ THE POWER RESERVE INDICATOR

- The power reserve indicator lets you know the winding state of the mainspring.
- Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to check if the watch has stored enough power to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring. (To prevent the watch from stopping, wind the mainspring to store the excess power that will allow the watch to run for extra time.)

The Power Reserve Indicator			
The winding state of the mainspring	Fully wound	Half wound	Unwound
The number of hours the watch can run	Approximately 72 hours (3 days)	Approximately 36 hours (1 day and a half)	The watch either stops or is running down.

※When the mainspring is fully wound, the crown can be turned further, or the mainspring may wind without damaging the mainspring itself. The mainspring of the watch employs a slipping attachment structure, a self-winding watch specific mechanism, to prevent the mainspring from over winding.

●Remarks on the self-winding mechanism of the mainspring

・The correlation between the number of hours the watch is worn and the winding state of the mainspring is provided below for your reference. However, the winding state of the mainspring may vary depending on actual use conditions, such as the number of hours you wear the watch or the extent of your movement while wearing it. It is recommended that you observe the power reserve indicator to check the level of remaining power of your watch.

The mainspring of the watch becomes fully wound when it is worn for twelve hours for three to five days.

※In a case when you wear the watch for a short period of time each day, observe the power reserve indicator to check the level of the remaining power. If necessary, manually wind the mainspring.

■TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

⚠ CAUTION

●CARE OF YOUR WATCH

・The case and bracelet touch the skin directly just as underwear. If they are left dirty, the edge of a sleeve may be stained with rust of those who have a delicate skin may have a rash.

・After removing the watch from your wrist, wipe perspiration or moisture with a soft cloth. This will prevent the watch from being soiled, adding to the life of the gasket.

<LEATHER BAND>

・When removing moisture from a leather band, do not rub the band with the cloth as this may discolor it or reduce its gloss. Be sure to blot up the moisture using a soft dry cloth.

<METAL BRACELET>

・Clean the watch bracelet with a soft toothbrush dipped in water or soapy water.

⚠ CAUTION

●RASH AND ALLERGY

- Adjust the bracelet and band so that there will be a little clearance between the bracelet or band and your wrist to avoid accumulation of perspiration.
- If you are constitutionally predisposed to rash, the band may cause you to develop a rash or an itch depending on your physical condition.
- The possible cause of the rash are as follows:
  1. Allergy to metals or leathers
  2. Rust, dust or perspiration on the watch or band
- If you develop any skin reactions, take off the watch and consult a doctor immediately.

⚠ CAUTION

●WATER RESISTANCE

- Check the dial or case back of your watch for the water resistant quality, and then see the table below.
- Do not turn or pull out the crown when the watch is wet, as water may get inside the watch.

Indication for water resistance a: Indication on the dial b: Indication on the case back		Condition of use / Degree of water resistance	Designed and manufactured to withstand accidental contact with water such as splashes and rain.	Suitable for swimming, yachting and other aquatic sports as wellas for works closely associated with water such as kitchen work, watening and fishing.	Suitable for shallow diving without a heavy breathingapparatus.	Genuine diving using scuba.	Genuine diving using heliumgas.
a	No indication	No water resistance	×	×	×	×	×
b	No indication						
a	No indication	Water resistance (3 bar)	○	×	×	×	×
b	WATER RESIST						
a	No indication	Water resistance (5 bar)	○	○	×	×	×
b	WATER RESIST or WATER RESIST 5 BAR						
a	No indication, or WATER RESIST 10 BAR	Water resistance (10 bar)	○	○	○	×	×
b	WATER RESIST 10 BAR						
a	No indication, or WATER RESIST 20 BAR	Water resistance (20 bar)	○	○	○	×	×
b	WATER RESIST 20 BAR						

⚠ WARNING

- If your watch is 3 bar water resistant, do not use it in water.
- If your watch is 5 bar water resistant, do not use it in any type of diving including skin diving.
- If your watch is 10 or 20 bar water resistant, do not use it in saturation diving or scuba diving.

●PRECAUTIONS ON WEARING YOUR WATCH

- In case you tumble and fall or bump into others with the watch worn on your wrist, you may be injured by the reason of the fact that you wear the watch.
- When you make contact with children, especially with infants, they may get injured or develop a rush caused by allergy.
- Do not drop the watch or hit it against a hard surface and not wear the watch while playing active sports. The watch may gains/loses time.

■PLACES TO KEEP YOUR WATCH

・If the watch is left in a temperature below －10℃ or above ＋60℃ for a long time it may function improperly or stop operating.

・Do not leave the watch in a place where it is subjected to strong magnetism or static electricity.

・Do not leave the watch where there is strong vibration.

・Do not leave the watch in a dusty place.

・Do not expose the watch to gases or chemicals.
(Ex.: Organic solvents such as benzine and thinner, gasoline, nail polish, cosmetic spray, detergent, adhesives, mercury, and iodine antiseptic solution.)

・Do not leave the watch in a hot spring, or do not keep it in a drawer having insecticides inside.

■PERIODIC CHECK

・Checking and overhaul of the watch (cal. 9R65) will be performed by SEIKO. When you take the watch to the retailer from whom it was purchased, request that the watch will be checked and overhauled by SEIKO.

・We suggest that you have your watch checked by SEIKO every 3 or 4 years for oil condition or damage due to water or sweat. After checking the watch, adjustment and repair may be required.

・When replacing the parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS."

・Be sure to have the gasket and push-pin replaced with new ones when checking the watch.

■TROUBLE SHOOTING

Trouble	Possible cause
The watch stops operating.	The power supplied by the mainspring has been consumed.
Even though you wear the watch every day, the power reserve indicator does not move up.	The watch is worn on your wrist only for a short period of time, or the amount of arm movement is small.
The watch temporarily gains or loses time	The watch has been left or worn in extremely high or low temperatures.
	The watch is left close to an object with a strong magnetic field.
	You drop the watch, hit it against a hard surface, or wear it while playing active sports. The watch is exposed to strong vibrations.
The inner surface of the glass is clouded.	Moisture has entered the watch because the gasket has deteriorated.
The watch stops even though the power reserve indicator is not showing "0".	The watch has been left under a temperature below 0℃.
Right after starting the watch, it seems that the second hand moves quicker than usual when setting the time.	When starting the watch, it takes a little time before the adjustment function starts working (this is not a malfunction).

Solution
Refer to "●How to wind the mainspring" to wind the mainspring and reset the time. While you are wearing the watch or when you take it off, check the remaining power shown by the power reserve indicator and wind the mainspring if necessary.
Wear the watch for an extended period of time, or when taking off the watch, turn the crown to wind the mainspring if the remaining power shown by the power reserve indicator is not sufficient for the next use.
Return the watch to a normal temperature so that it works accurately as usual, and then reset the time. The watch has been adjusted so that it works accurately when it is worn on your wrist under a normal temperature range between 5℃ and 35℃.
Prevent the watch from making close contact with magnetic objects so that the watch works accurately as usual, and then reset the time. If the watch does not work accurately again after the above procedure, contact the retailer from whom the watch was purchased.
Reset the time. If the watch does not work accurately as usual after resetting the time, contact the retailer from whom the watch was purchased.
Contact the retailer from whom the watch was purchased.
If the watch is left under a temperature below 0℃, it may stop if the power reserve indicator is showing less than one-sixth. In such a case, turn the crown to wind the mainspring.
It takes several seconds before the adjustment function starts working. Set the time after the second hand moves for approximately 30 seconds to set the time correctly.

※Contact the retailer from whom the watch was purchased for any other troubles.

■REMARKS ON AFTER-SALES SERVICING

- Your GRAND SEIKO watch was strictly checked and completely adjusted at the factory to ensure its high accuracy. However, if your watch gets out of order with the correct way of use as described in this instruction booklet within the guarantee period, take your watch to the dealer from whom your watch was purchased together with the certificate of guarantee. Repair and adjustment will be made without charge.
- For repair after the guarantee period or for any other information regarding the watch, contact the retailer from whom your watch was purchased or the "CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT" of SEIKO WATCH CORPORATION.

■REMARKS ON REPLACEMENT PARTS

- SEIKO makes it policy to usually keep a stock of spare parts for GRAND SEIKO watches for 10 years. In principle, your watch can be reconditioned within this period if used normally. (Replacement parts are those which are essential to maintaining the functional integrity of the watch.)
- The number of years that a watch is considered repairable may vary greatly depending on the conditions under which it was used, and normal accuracy may not be achieved in some cases. We recommend, therefore, that you consult the retailer from whom the watch was purchased when having them repair your watch.
- The case, dial, hands, glass and bracelet, or parts thereof may be replaced with substitutes if the originals are not available.

■SPECIFICATIONS

1.Features:…3 hands (Hour, Minute and Second hands), Power Reserve Indicator and Date

2.Frequency of crystal oscillator:…32,768 Hz

3.Loss/gain (monthly average):…Within± 15 seconds (equivalent to± 1 second per day) (worn on your wrist at a normal temperature range between 5℃ and 35℃)

4.Operational temperature range: …−10℃～+60℃
Under a low-temperature condition (below 0℃), always keep at least one-sixth of the watch power shown by the power reserve indicator.

5.Driving System:…Spring Drive (Self-winding type with manual winding function)

6.Hand movement:…Sweep second hand

7.Duration:…Approx. 72 hours (Approx. 3 days) *If the power reserve indicator shows the power supplied by the mainspring is full before starting the watch.

8.IC (Integrated Circuit):…Oscillator, frequency divider, and spring drive control circuit (C-MOS-IC): 1 piece

9.Jewels:…30 jewels

※The specifications are subject to change without prior notice due to product

セイコーウオッチ株式会社

全国共通フリーダイヤル

0120-612-911（下記の最寄地に着信いたします）

お客様相談室

〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町 2-1-10

〒550-0013　大阪市西区新町 1-4-24（大阪四ツ橋新町ビルディング8階）

お客様相談係

〒060-0061　札幌市中央区南一条西 7-20-1
（札幌スカイビル4階 セイコーサービスセンター内）

〒810-0801　福岡市博多区中洲 5-1-22
（松月堂ビル6階 セイコーサービスセンター内）